

## 筋肉質な企業に転換

富士ダイスは変化する事業環境の中でも利益を生み出せる筋肉質な企業体質への転換を目指し、成長戦略を遂行している。マーケティングや研究開発力を強化し、次世代自動車や医療など新たな市場の動向を見極め新製品や新技術を提案。重点施策の進捗について久保井恒之社長に聞いた。

―生産性向上に取り 接作業時間の向上、リードタイムの短縮など組んでいます。

「2021年は郡山 効果を見せている。22製造所（福島県郡山 年は同所で引き続き活市）を対象として、生 動を続けるほか、熊本産効率の改善に取り組 製造所（熊本県南関んだ。IE（インダス 町）や岡山製造所（岡トリアル・エンジニア 山県倉敷市）でも順次リング）の手法を用い 開始する。24年までに設備の配置の最適化 全拠点での生産効率改や各種生産アークの見 善を目指す」

える化、従業員の作業 ー特に注力しているスキル開示などを行っ 開発は。

た。設備稼働時間、直 ー次世代自動車向け

富士ダイス社長 久保井 恒之氏

## 全拠点で生産効率改善



にはモーターコア金型 する特性を高次元でバ 用超硬合金材料を開 ランスさせる必要があ 発しており、22年度内 る。これまで試作品を にも量産を開始した 顧客に提供し、フィー ー。モーターの材料と ドバックを受けて材料 工技術を生かして高精 度のマイクロ流路を加 工できる。高熱膨張レ ンズ用金型のために開 発した金属材料を応用 し、分析デバイスの材 料であるガラスに近い 熱膨張係数を実現でき た」

―海外事業は。

「東アジアでは特に 需要が拡大する半導体 や光学素子向けの金 型、素材を拡販してい

る。これに向けて現地で市場調査を行った り、日本から社員を派遣しローカル人材の育成を進めたりしてい る。今春にはホームペ ーを刷新し、訴求力 を高める。オンライン の設置を検討してい 販売も強化したい」

### 記者の目

新市場区分ではプライム市場 を選択した。上場維持基準を満たすための計画では生産性の向上や医療、次世代自動車、環境・エネルギーといった新成長エ ンジンの創出を加速することで 企業価値の向上を目指す。マ ーケティング専門部署を新設し、開発部門と連携しながら次の柱となる事業を模索す る。（南東京・増田晴香）

### 次の柱となる事業模索